

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)厚木市物流倉庫計画新築工事	階数	地上4F
建設地	厚木市上依知字堂坂沖1207番3	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	42人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年2月13日
敷地面積	2,703㎡	作成者	大末建設(株)一級建築士事務所
建築面積	1,420㎡	確認日	2020年2月13日
延床面積	5,600㎡	確認者	大末建設(株)一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

環境品質: 53, 環境負荷 L: 53

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 46 (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: #DIV/0!

③上記+②以外の: #DIV/0!

④上記+: #DIV/0!

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	3.2
温熱環境	2.6
光・視環境	2.9
空気質環境	3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性	3.2
耐用性	2.9
対応性	3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.0

建物外皮	N.A.
自然エネ	N.A.
設備システ	N.A.
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

水資源	3.4
非再生材料の	3.8
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	N.A.
地域環境	3.0
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	本物件は、リサイクル材を採用し資源の保護に配慮している。また、LED照明を採用し、省エネルギーへ配慮している。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・全面的にF☆☆☆☆の建材を採用し空気質環境に配慮する。	・耐用年数の長い配管材料を採用し、建物の耐用性に配慮する。	・建物の配置や外装計画について、まちなみに調和するよう配慮する。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
0	・フロンやハロンを極力用いないように計画し、有害物質を含まない材料の採用に配慮した。	・屋外照明や広告物照明に対してガイドラインを満足し、光害の抑制に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される